

中学社会科研究部 第3回研修会

1. 日時 10月30日（水） 14:00～16:30

2. 会場 東部中学校、北浜中学校、三ヶ日中学校

3. 内容 授業実践と研究協議

公民分野「政治と私たち 国の政治のしくみ」

授業者 東部中学校 今田賢汰 先生

東部中会場では、前時の模擬裁判をもとにして裁判の在り方や裁判員制度について考える授業を行いました。模擬裁判とその判決において生徒がどのような意見や考えを持ったのかが授業の軸になる内容でした。様々な資料を提示し、被害者側・加害者側など立場が違う人々からは事件がどう見えたのか、裁判は公正であったか、民意を取り入れることの大切さや取り入れすぎることの危険性、裁判員制度の意義や三審制をとっている理由など多面的・多角的に考察する姿が見られました。今まで学習してきた知識を生かして生徒が自分の言葉で議論している姿が印象的でした。

授業後の研修会では、学びを深めていける手立てができていたかについて議論しました。また、これまでに「学びが深まった」と感じた先生方の授業案を発表しました。まだ教職経験が浅い先生方が様々な情報を得て、今後の授業改善に活かしていくような機会となればと思います。



公民分野「経済」

授業者 北浜中学校 細川博史 先生

北浜中会場では、「パンSim」というデジタル教材を利用して授業を行いました。生徒は、「パンSim」という教材を利用して、どのように経営をすれば利益を最大限得ることができるのかを追求することで、経済活動における選択と資源の効率的な配分について学ぶという内容でした。生徒がタブレットを利用するには、もちろんのこと、参観者も全員タブレットを片手にリアルタイムで生徒が更新するデータを見ながらの参観授業でした。授業のスタイルも自由進度学習ということで、集団で学ぶ生徒もいれば、個別に学ぶ生徒もあり、生徒によってよりよい学び方を選択していました。授業後の研修会では、「FigJam」を利用して良かった点と改善点をまとめました。



地理分野 「日本の諸地域 関東地方」

授業者 三ヶ日中学校 森下真穂 先生

関東地方の地域的特色を資料から読み取り、東京一極集中という現代的課題について学習しました。生徒が考えやすくするために3つの視点を教師が提示し、その視点に沿ったグループで意見をまとめ、違う視点のグループと交流を行うことで考えを深めました。学習内容に加えて聞く力や、話す力、まとめる力を育てていく授業でした。各グループへの移動式ホワイトボードや、オクリンクのカード、提示する資料など、指導したい目標に向かう手立ての工夫に対して、多くの先生から高評価のコメントが集まりました。

